

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース



### 第 54 回 少林寺拳法全日本学生大会



# 「ウイズコロナ」に対応 予選なし。特別基準で表彰 第54回少林寺拳法全日本学生大会



第54回少林寺拳法全日本学生大会（主催Ⅱ全日本学生少林寺拳法連盟）が11月8日、日本武道館で無観客の中、開催された。新型コロナウイルス感染症防止策を徹底したうえ、本選のみを実施し順位付けをしないなど異例の形式となったが、58大学476名の拳士がエントリー。少林寺拳法連盟では今年初となる全国規模の大会で、大学生は限られた時間の中、コロナ禍における修練の成果を存分に披露した。

コロナ禍の下、日本武道館で武道大会が開かれるのは、10月の第63回関東大学空手道選手権大会に続いて2度目。相手との接触が避けられない武道競技は春以降、全国規模の大会の中止や延期が続いたが、感染予防策を徹底することで大会再開の動きがようやく本格化してきた。

今大会は「愛と平和」をテーマに、「ウイズコロナ」の時代に対応していく大会を目指した。組演武、三人掛、単独演武の3部門とし、計16種目のエントリーを各大学1枠に制限。出場選手を級・段位別に2班に分け、午前・午後の2部制で開催した。競技では、通常審判5人制のところ3人制を採用。総合点300点満点で、基準点（白帯から級拳士は255点、有段者は258点）以上に達した拳士すべてに賞状を授与する特別方式が採られた。

出場拳士の受付は東西南北4カ所の玄関に分散し、入り口では係員とサーマルカメラ（体温測定器）による検温、手指消毒を実施した。

開会式はコロナ感染拡大防止のため、簡略化された。開会宣言の後、三浦信行全日本学生少林寺拳法連盟会長の挨拶はアナウンスによる代読で行われ、「今年は新型コロナウイルスによって多くの人々が不安な気持ちを抱えていると思います。少林寺拳法が目指す人間像である、自信や勇氣、行動力、正義感、慈悲心、真の強さ、優しさを持つ人材が、今の時代にこそ強く求められています。今年は例年と様式が違う大会となりましたが、技術はもとより精神面の向上においても、拳士諸君にとって、実りある大会となることを願っています」と述べた。

大会は会場を12コートに分け、全





全ての入場口に飛沫（ひまつ）  
感染防止シートを準備



サーマルカメラを使って  
検温が行われた（南・東玄関）

### 出場大学・拳士数一覧表（58大学 476名）

|               |     |             |     |
|---------------|-----|-------------|-----|
| 1 愛知大学        | 1名  | 30 中部大学     | 3名  |
| 2 青山学院大学      | 8名  | 31 津田塾大学    | 2名  |
| 3 茨城大学        | 4名  | 32 都留文科大学   | 1名  |
| 4 追手門学院大学     | 24名 | 33 東京大学     | 21名 |
| 5 大阪産業大学      | 4名  | 34 東京経済大学   | 4名  |
| 6 大阪大学        | 16名 | 35 東京電機大学   | 1名  |
| 7 関西大学        | 15名 | 36 東京農業大学   | 8名  |
| 8 関西外国語大学     | 15名 | 37 東京農工大学   | 5名  |
| 9 関西学院大学      | 1名  | 38 東京理科大学   | 5名  |
| 10 学習院大学      | 17名 | 39 東北大学     | 12名 |
| 11 京都先端科学大学   | 4名  | 40 同志社大学    | 25名 |
| 12 群馬大学       | 7名  | 41 長岡技術科学大学 | 2名  |
| 13 敬愛大学       | 5名  | 42 長崎県立大学   | 1名  |
| 14 慶應義塾大学     | 15名 | 43 名古屋大学    | 1名  |
| 15 慶應義塾大学理工学部 | 5名  | 44 南山大学     | 3名  |
| 16 神戸大学       | 12名 | 45 奈良教育大学   | 1名  |
| 17 國學院大學      | 1名  | 46 日本体育大学   | 15名 |
| 18 国際武道大学     | 14名 | 47 日本女子大学   | 3名  |
| 19 国士舘大学      | 6名  | 48 日本女子体育大学 | 11名 |
| 20 駒澤大学       | 4名  | 49 白鷗大学     | 3名  |
| 21 埼玉大学       | 7名  | 50 法政大学     | 12名 |
| 22 佐賀大学       | 8名  | 51 北海道大学    | 3名  |
| 23 静岡大学静岡     | 5名  | 52 武庫川女子大学  | 2名  |
| 24 信州大学       | 3名  | 53 明治大学     | 25名 |
| 25 専修大学       | 5名  | 54 明治学院大学   | 16名 |
| 26 拓殖大学       | 1名  | 55 桃山学院大学   | 6名  |
| 27 千葉大学       | 4名  | 56 横浜国立大学   | 5名  |
| 28 中央大学       | 20名 | 57 立教大学     | 22名 |
| 29 中京大学       | 6名  | 58 早稲田大学    | 21名 |



各コートでは演武の合間に  
消毒作業が行われた

16種目を本選のみで行った。例年とは違う雰囲気にも包まれた会場では、応援や歓声のない静寂が拳士たちの緊張感をより一層高めた。

大会中、参加拳士は演武の前後に手や指を念入りに消毒。演武の合間や午前・午後の入れ替えの際はスタッフがコートの消毒を行うなど徹底した感染防止対策が取られた。

閉会式では、基準点以上の成績を収めた大学の代表者1名に各地区連盟学生委員長が賞状を授与した。

### 実行委員長に聞く



大橋知直  
大会実行委員長  
(早稲田大学4年)

開催にあたって、この時期にやるのはどうかという意見もありました。学生連盟内で議論を重ね、各地区連盟や周りから「サポートするから」との力強い言葉が後押しとなり、開催を決めました。

少林寺拳法としても初の全国大会となるので他のスポーツを参考に感染防止対策を検討しました。連盟一丸となり演武前の所作説明など、当日まで周知させることに注力しました。

大会テーマの「愛と平和」は私の座右の銘で、大学入学後にボランティア活動を通じて人と人の関わりなどを意識するようになったことだと思いがより強くなりました。

好評発売中

『人、人、人、  
すべては人の質にある……』  
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に  
直接手ほどきを受けた著者入魂の  
武道教育論！

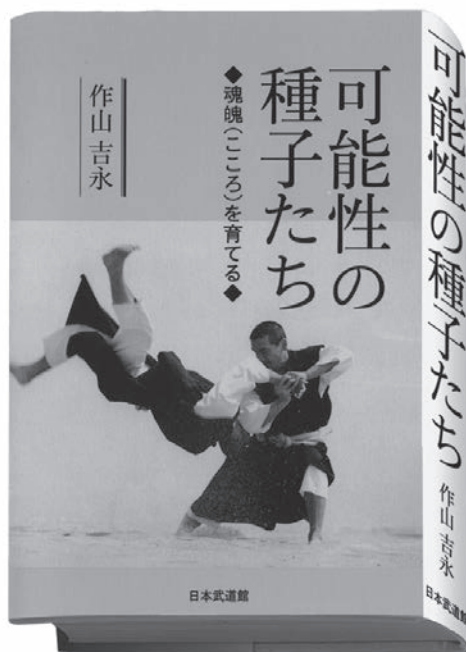
# 可能性の

# 種子たち

『<sup>はく</sup>魄』は生きるための生命力——  
『<sup>こん</sup>魂』は人間を善に導く原動力——

魂魄(こころ)が健全に育てば、豊かな感性や  
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ  
る多くの知識を、智慧とすることができ、  
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種  
子の芽生えなのである。

——魂魄(こころ)を育てる——



## 主な目次

- 第1章 少林寺拳法／第2章 直心は道場／第3章 師事／
- 第4章 マイ・アメリカ／第5章 可能性の種子、芽吹く／
- 第6章 嵩山少林寺／第7章 魂魄(こころ)を育てる／
- 第8章 新しい扉を開く

金剛禪総本山少林寺茨城高萩道院長

作山吉永 著

(四六判・上製・338頁)

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

## 日本武道館発行の単行本



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



# 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



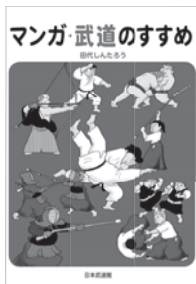
# 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

# マンガ・武道のすすめ



(B5判・236頁)

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！  
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・  
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、  
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。  
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



少林寺拳法は4話を掲載！





「武道推進モデル校」の群馬県・渋川市立北橋中学校

# コロナ対策は万全 空手指導者が授業に協力



非接触で行われた約束組手

中学校での武道授業について、スポーツ庁は外部指導者を活用して複数の武道を選択する「武道推進モデル校」の事業を昨年度に続き計画し、都道府県・政令指定都市教育委員会が選定したモデル校で武道授業が実施されている。

このうち、「武道推進モデル校」に選ばれた群馬県渋川市立北橋中学校の空手道授業について紹介する。

10月19日午前、北橋中学校で3年生の空手道の授業が行われた。この日はスポーツ庁の藤江陽子次長、伊藤賢政策課学校体育室長、斎藤祐介同指導係・保健教育係長が視察。日本武道館から中島昭博振興部振興課長ほか2名が同席した。

北橋中は昨年、渋川市スポーツ協会を通して渋川市空手道連盟の協力を得て空手道体験会を実施。本年度は「武道推進モデル校」として、空手道指導者の協力のもと、各学年で10月から11月に3回または5回の空手道授業を実施することとなった。空手道授業終了後に、11月上旬まで4回または6回の柔道授業を行う。

この日、3年生全員（2クラス合同、男女計67名）が体育館で全5回中2回目の空手道授業に臨んだ。3年生の授業は鳩山元氣教諭が担当。外部指導者として、渋川市スポーツ協会会長であり、渋川市空手道連盟会長の水沢淳氏ほか4名が指導にあたった。市空手道連盟には18名の指導者が在籍しており、本年度の空手道授業では、各自仕事を調整しながら常に5名以上が立ち会うような態勢をとっている。

初めに担当の鳩山教諭が「今日のめあては『基本の技が正しくできるか』です。ワンランクアップのポイントを考えながら実践してください」と説明し、授業が展開された。

水沢講師の指導のもと、生徒たちは体育館いっぱいに広がった。感染症対策のため、生徒同士の距離を十分にとっている。水沢講師はマウスシールド、生徒たちはマスクを着用している。

実技は結び立ち、平行立ちなどの立ち方の確認を行い、突き、蹴りの指導に入った。「拳をしつかりと握って正しいコースで突くことが大切です」とマウスシールド越しに水沢講師の声が響く。徐々にスピードを上げて突きを行う生徒たち。同校の下境一浩校長は「対人接触がなくても実施できる空手授業は、コロナ禍の状況でも適している武道種目だと思います」と話した。

次に全体を2グループに分け、非接触で約束組手の実技（上段突き・中段突きの受けと返し）を行った。続いて基本的な形の指導になった。初めに連盟の指導者が模範を示し、生徒たちもそれに続く。生徒たちは

前回の授業を思い出し、水沢氏の指導を確認しながら必死に取り組んでいた。

最後は、連盟の福原秀樹氏による形の模範演武。福原氏は昨年8月にタイ・バンコクで行われた第2回アジアオセアニア空手道選手権大会団体戦男子形の部で優勝した熟達者。福原氏が「エンピ」と形名を呼称すると、生徒たちは福原氏の丹田から響く掛け声に圧倒された様子。空気が裂けるような突きやしなやかな足運びなどが繰り広げられた演武を見終わると、福原氏に大きな拍手を送っていた。

「空手では、自分のイメージを持つことが大切です。突きや蹴りは力強く、そして美しくなるように心掛けて演武しましょう」と水沢講師が結んで授業は終了した。

#### ●藤江陽子スポーツ庁次長

「北橘中学校のように、より多くの中学校で複数の武道を選択する『武道推進モデル校』に取り組んでいただけだと考えております。多くの種目を体験して日本固有の武道に触れることはとても有意義なことだと

思っております。今年度前半は全国各地で、コロナの影響で休校が続いたり、人との接触を避けたりと、体育の授業の実施に当たって非常に困難な状況でありました。北橘中学校のように、感染対策を取りながら進めていただけるとありがたいと思います。また、単なる体験だけでなく、一流の指導者の指導を受けながら実施できるのは貴重ですので、生徒さんには将来に繋げていただければと思います」

#### ●水沢淳洪川市空手道連盟会長

「生徒さんはしっかり聞いてくれますし、時間的な制約がある中でも成果は上がっていると感じております。武道を通じて『心のもち方』を学んでもらえたらと思います。また、今年はコロナ禍が広がる中で指導となりましたが、市スポーツ協会では、手洗い・消毒、マスクの着用、3密の回避を徹底しています。空手やスポーツを通じて正しい予防知識を身につけて、日常生活でウィルスに打ち勝つことが大切だと考えています。授業を通じて、それも身につけてほしいと思います」



## 日本武道館の単行本

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



### 空手道 その歴史と技法



小山正辰 和田光二 嘉手苺徹 著

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

四六判・上製・568頁・本体2,400円＋税

### 幸せについて考えよう



—武道指導者へのメッセージ

元衆議院議員・檀樹舎舎主 小野 晋也 著

混迷の時代・社会において、幸福な人生とは何か。一人ひとりが、そして社会全体が前向きに歩んでいくため、に必要な事は…。先人の言葉や古今東西の幸福論に触れながら、様々な困難を乗り越え、切り開くためのヒントを「武道」の精神に求めた出色の一冊。

四六判・上製・392頁・本体2,400円＋税

### 学校武道の歴史を辿る



筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

四六判・上製・354頁・本体2,400円＋税

### 合気道に生きる



合気道九段 多田 宏 著

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。

四六判・上製・402頁・本体2,400円＋税

好評発売中

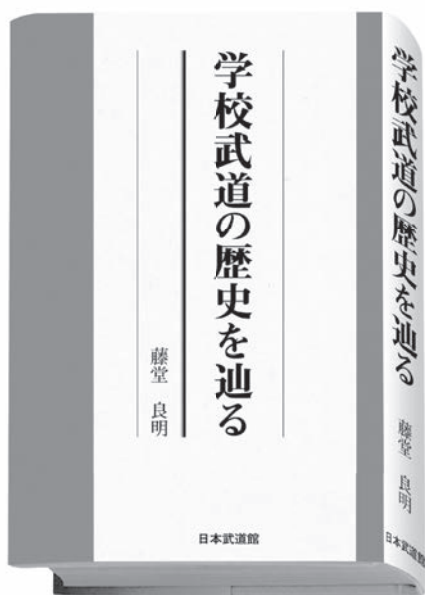
藤堂良明 (とうどう よしあき)  
(筑波大学名誉教授) 著

# 学校武道の歴史を辿る

四六判・上製・354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。

学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



## 著者略歴

藤堂良明 (とうどう よしあき)

1949年(昭和24)、埼玉県生まれ。東京教育大学体育学研究科修士課程修了。筑波大学教授(体育科学系)、同大学体育専門学群副学群長、同大学附属中学校長、全国国立大学附属学校連盟会長、日本教育大学協会副会長、日本武道学会理事、全日本柔道連盟教育普及委員会委員などを歴任。

現在、筑波大学名誉教授。博士(学術)。柔道七段。埼玉県柔道連盟副理事長。日本古武道協会常任理事。

## 目次

- 第1部 江戸時代の学校武道**
  - 第1章 藩学の創設と文武学習
  - 第2章 藩学における教育目標
  - 第3章 藩学における武芸教育
- 第2部 明治時代の学校武道**
  - 第4章 武芸の衰退と学校教育制度の確立
  - 第5章 学校武術採用に関する体操伝習所の答申
  - 第6章 山岡鉄舟と嘉納治五郎
  - 第7章 嘉納治五郎の学校柔道普及戦略
  - 第8章 明治期の学校における武術の普及状況
  - 第9章 武術の正課採用への歩み
- 第3部 大正時代の学校武道**
  - 第10章 文部省主催武術講習会の目的と内容
  - 第11章 学校体操教授要目の制定と内容
  - 第12章 「学校体操教授要目」制定後の体育界の動向
  - 第13章 大日本武徳会の設立と影響
  - 第14章 学生武道の隆盛
  - 第15章 改正学校体操教授要目の制定と内容
- 第4部 昭和20年以前の学校武道**
  - 第16章 精力善用国民体育と学校武道
  - 第17章 柔・剣道が正課必修に
  - 第18章 戦前の学生武道大会の発展
  - 第19章 国民学校体操科の登場
  - 第20章 第二次大戦中の体操科武道
- 第5部 戦後の学校武道**
  - 第21章 戦後の学校武道の禁止と復活
  - 第22章 「格技」の誕生
  - 第23章 格技から武道へ
  - 第24章 中学校武道必修化の実現
  - 第25章 これからの学校武道のあり方

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



好評発売中

合気道九段 多田 宏 著

# 合気道に活きる

四六判・上製・402頁・本体2400円＋税

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。

昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。

合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。



## 多田 宏 (ただひろし)

昭和4年(1929)12月14日生。東京都出身。早稲田大学第一法学部在学中の昭和25年、植芝道場入門、合気道を始める。植芝盛平先生、吉祥丸先生に師事。同年、天風会入会、中村天風先生に師事。同年、一九会道場入会、日野正一先生に師事。昭和27年早稲田大学卒業。合気道の稽古と日本武道の歴史研究を専門とする道に進む。合気道本部師範・防衛庁師範を務め、慶應義塾・学習院・早稲田の各大学合気道会設立に尽力。師範となる。昭和39年渡欧し、欧州各国での合気道普及に尽力。イタリア合気会を創設。

現在、合気会本部師範、早稲田大学合気道会名誉師範、東京大学合気道会名誉師範、イタリア合気会主任教授、国際合気道連盟委員など。また、合気道多田塾を主宰。合気道九段。

## 目次

### 第一章 生い立ち

- 一 原点
- 二 幼稚園から小学校時代
- 三 第一東京市立中学校

### 第二章 師との出会い

- 一 松濤 船越義珍先生
- 二 植芝盛平先生・吉祥丸先生
- 三 中村天風先生
- 四 鉄叟日野正一先生・みちゑ先生

### 第三章 生き方の方針

- 一 植芝道場 先輩の教え
- 二 命の基を訪ねて
- 三 一生の方針を定める

### 第四章 植芝盛平先生の教えと稽古

- 一 気の錬磨
- 二 合気道の心
- 三 心学の道、心法の道
- 四 稽古と法
- 五 稽古の目的、人の生き方
- 六 「機」について
- 七 錬る
- 八 自然な動き
- 九 場を主宰する

### 第五章 合気道の普及

- 一 合気道の発展
- 二 「気の流れ」の錬磨
- 三 ヨーロッパの合気道
- 四 合気道の国際的普及
- 五 気の流れと縁

### 第六章 呼吸法(調気の法)

### 終章 稽古を顧みる

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。